# 我が国最大の情報機関 ~日本、そして世界のために~









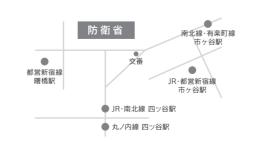


## 防衛省情報本部

総務部 職員人事管理室

〒162-8806 東京都新宿区市谷本村町5番1号 TEL 03-3268-3111(代表) 内線31264 http://www.mod.go.jp/dih/

このパンフレットには「しかけ」があります。 興味のある方はぜひ探してみてください。



# 防衛省情報本部

職員採用パンフレット2024



#### Contents

	ア	09
0	4 激動の国際情勢と我が国の安全保障を支	える
	インテリジェンス	
0	6 情報本部の任務・活動、一般的な情報業務	<b>务の流れ</b>
0	8 情報本部の組織	
0	9 求める人物像	
1	0 各部・通信所の紹介	
	〇総務部・統合情報部	10
	〇計画部	11
	〇分析部	12
	〇画像•地理部	13
	○電波部	14
	〇通信所	15
1	6 試験別キャリアパス・職員の声	
	〇防衛省専門職員	16

22 情報本部で得られる機会

〇国家公務員採用

〇国家公務員採用

~国内外留学・在外公館出向・機関交流~

一般職試験(大卒程度試験)

一般職試験(高卒者試験)

- 24 情報本部の知の結集・ある分析官の1日
- 26 若手職員アンケート
- 27 ワークライフバランス
- 28 Q&A -採用担当者がお答えします-
- 30 処遇関係
- 31 採用情報

20

# 激動の国際情勢と我が国の安全 保障を支えるインテリジェンス

## 2022年2月24日、ロシアがウクライナ侵略を開始した。

現地や各国のメディアの報道、公開される衛星画像、各国の軍当局などが公表する 資料などこれまでの戦争とは比較にならないほど多くの情報が入手可能となった。

しかし、公刊情報だけでわかることは限られている。





激動の国際情勢の中、我が国の平和と安全を守るには、我が国周辺でどのような リスクがあるのか冷静に見積もり、

カスタマー(意思決定者)に判断・行動してもらうことが必要だ。 そのためのインテリジェンスを作成することが我々の任務だ。

見落としは許されない。恣意的な解釈も禁物だ。





情報本部で勤務するということは、

## 我が国の安全保障を支えるインテリジェンスに責任を持つ

ということだ。

カスタマーに必要なインテリジェンスとは何か常に考えながら情報収集し、評価・分析・報告する。



紛争当事者同士で主張が食い違うことがある。 どちらかの国の主張が正しいのか。

それとも両方間違っているのか。

情報戦が錯綜する中でファクトを見極める能力が必要だ。



情報本部は我が国最大のインテリジェンス機関として、情報を収集・評価・分析し、プロダクト(分析の成果物)としてカスタマーに提供している。

その一つ一つは情報本部の職員の英知の結集だ。





通常の役所勤めとは趣を異にするのは事実だ。しかし、**やりがいはある**。 入省2年目で省幹部を前に作成したプロダクトを報告する者もいる。 充実した研修プログラムもあり、インテリジェンスの専門家として成長できる。 そんな職場に関心を持ち、

## ともに激動の国際情勢と向き合ってくれる人材

を我々は必要としている。

## 情報本部の任務・活動

#### 我が国最大の情報機関として

情報本部は、我が国の情報機能の重要性と冷戦後の国際情勢の変化を踏まえ、平成9年に創設された防衛省の中央情報機 関であり、我が国最大の情報機関です。

電波情報、画像・地理情報、公刊情報などを収集・解析するとともに、防衛省内の各機関、関係省庁、在外公館などから提供さ れる各種情報を集約・整理し、国際軍事情勢等、我が国の安全保障に関わる動向分析を行っており、その分析結果は、内閣総理 大臣や防衛大臣、防衛省の内部部局等各機関、国家安全保障局をはじめとする関係省庁や陸・海・空自衛隊の各部隊に報告、共 有され、政策判断や部隊運用に役立てられています。

また、2022年12月に閣議決定された国家防衛戦略において、情報本部は従来の役割に加え、我が国の防衛における情報 戦対応の中心的な役割を担うこととなり、情報本部への期待は益々高まっています。

さらに、情報戦に確実に対応できる体制・態勢の構築に向けて、次のような取り組みを進めています。

- ・情報収集・分析・発信に関する体制の強化
- ・人工知能(AI)を活用した公開情報の自動収集・分析機能の強化
- ・各国による情報発信の真偽を見極めるためのSNS情報等を自動収集する機能の整備
- ・情勢見積りに関する将来予測機能の整備



## 一般的な情報業務の流れ



Provide our product to customers

安全保障政策や部隊運用を担う総理・防衛大臣や幕僚長といったカスタマーに提供。

## 情報本部の組織

- ●情報本部長、副本部長以下、各部、6カ 所の通信所で組織されています。
- ●各部は市ヶ谷(東京都新宿区)に所在し、 各通信所は全国各地(東千歳、小舟渡、 大井、美保、太刀洗、喜界島の6ヵ所)に 配置されています。
- ●情報本部は事務官、技官、陸・海・空自 衛官がともに働く組織です。
- ●各部等の業務の概要等について10ページ以降で詳しく説明します。

情報保全官 情報官×4 情報評価官

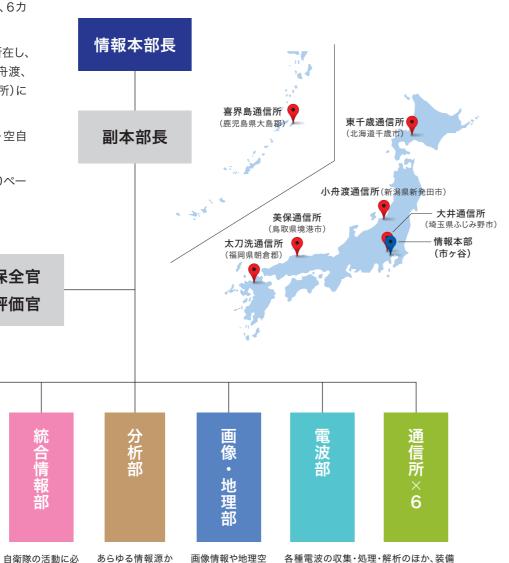
関係部局との連絡

調整、業務計画の

作成、電子通信機

材の研究、渉外等

要な国際情勢の分

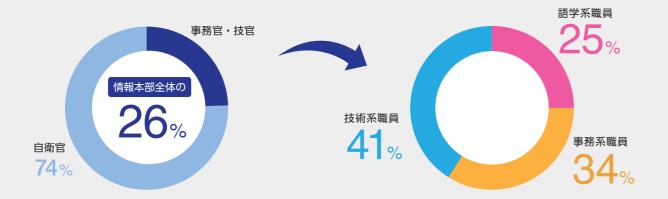


#### 職員の割合 (令和4年12月1日現在)

人事、給与、行政文

書管理、情報公開、

会計、物品の取得・



ら得られる情報に

基づく総合的な分

析、分析成果の提

間情報の収集・分

品の技術研究、開発等

## 情報本部の事務官・技官として求める人物像

## インテリジェンス分野で専門性を活かし、 我が国の安全保障に貢献したい人

## 防衛事務官

#### 語学や事務的な専門性を活かしたい人

#### 語学系職員

#### ~語学力・知識を活かす人材~

語学力や国際関係・安全保障に関する知識を活かしつつ、同分野での最新情報やトレンドを追うことに意欲的且つ国内外へのプレゼンや調整業務にも前向きな人材を求めています。

#### 事務系職員

#### 〜組織の基盤を支える人材〜

人事、会計、器材調達、情報保全・情報保証、情報 システム管理、各種事業計画の策定等の多種多様 な業務に携わるため、何事にも前向きに取り組む 意欲のある人材を求めています。

## 防衛技官

#### 数理的な知識・能力を活かしたい人

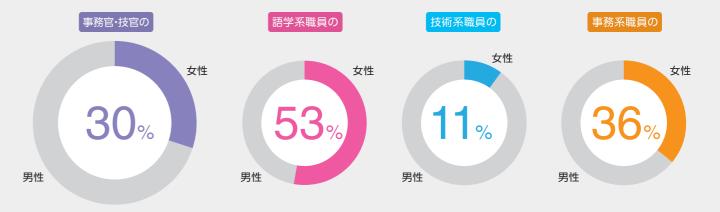
衛星写真や信号の解析及びその効果的な解析手法の研究など、得意とする数学や情報、電気・電子工学のほか、ITスキルを活用したい人材を求めています。

## 事務官・ 技官問わず

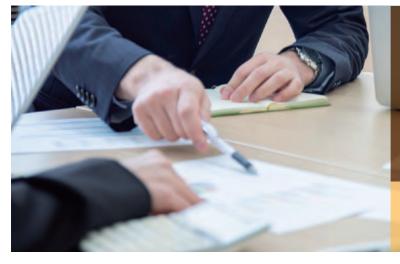
自身の知識やコミュニケーション能力を 情報分野に活かしたい人 ~情報戦に対応できる体制・態勢の構築に向けて~

情報戦における諸外国の動向の常時継続的な収集・分析や情報の真偽の見極め、また、 いかなる状況でも我が国に有利な環境を構築するために、自身の知識やコミュニケー ション能力を活かしたい人材を求めています。

#### 女性職員の割合 (令和4年12月1日現在)



## 情報本部の各部・通信所の紹介



# 総務部

組織運営の広範な業務を担う

情報本部の人事、給与、行政文書管理、情報公開、 会計、物品の取得・管理等、総務全般に関する業務を 行う。

事務系職員

情報業務を行う各部等が安心して職務に専念できるよう、組織の屋台骨として広範多岐にわたる業務を行う。

#### 情報本部の物的基盤を担う

私は、情報本部において使用する物品の取得・保管・処分等の管理業務を行っています。職務遂行にあたり人的・物的・金銭的な資源は必要不可欠であり、その一つである物的基盤を支える業務に従事していることは、組織運営の土台部分として、非常に重要な役割を担っていることを日々認識することができます。

これまでの経験で、印象に残っている業務は、大規模な情報システム器材の取得に関わる業務に携わったことです。様々な方と連携しながらシステムが構築されていく姿や、完成したシステムを存分に駆使しながら昼夜問わず任務に励む隊員の姿を見て、物的基盤を

事務系(高卒者) 平成20年入省

情報本部では、陸海空の自衛官との関わりの中で、様々な経験と 知識を得られ、更に、多種多様な研修に参加できる機会があります。 また、事務官・技官と陸海空自衛官のオールスタッフで勤務している 職場です。その基盤を支える職務はスケールが大きく、大変な時も ありますが、信頼できる仲間と共に乗り越えて行ける職場であり、や り遂げた際の達成感は非常に大きいです。

支える者として、やりがいと達成感を感じる出来事となりました。

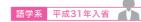
皆さんも、きっと自分のやりがいと達成感を得られる職場だと思います。共に仕事をできる日を楽しみにしています。



#### 成長の機会に満ちた場所で

私は、統合情報部において渉外業務に携わっており、国外のカウンターパートとの意見交換のための会議調整や接遇、資料の翻訳や通訳支援などを行っています。関係者との業務のやりとりを通じて防衛の最前線に触れているという実感があり、とてもやりがいがあります。

元々、語学に自信があった訳ではなく、大学院で国際関係論を学んだ経験を活かしたいと情報本部を志望したため、語学をフル活用する現在の業務(特に通訳)は自分に務まるだろうかと少し不安でした。当初は過度に緊張し落ち込むこともありましたが、周囲のサポートのお陰で最近では落ち着いて通訳に臨めるようになりました。



業務に必要な知識は一朝一夕では身につかないため、安全保障面に関する勉強やニュースのチェック、軍事英語の学習などを継続して行うことを心がけながら、充実した日々を過ごしています。

情報本部は、若手を伸ばそう、成長の機会を与えようという雰囲気が非常に強い職場だと日々感じています。語学研修や分析業務等の業務スキル向上に向けた研修が充実していることに加え、若手への教育に積極的な職員が多い印象です。

情報本部を志望するにあたり業務に不安を感じる方がいるかも しれませんが、入省後からでも学べる機会は沢山あります。知的好 奇心と向上心をお持ちの方はぜひ飛び込んでみてください。



# 人と人をつなぐ仕事

私は大学及び大学院で国際政治や安全保障を学び、安全保障を 支える鍵である情報に携わる仕事がしたいと考え、情報本部を志望 しました。

入省4年目となった今年から、渉外業務を担当しています。コロナ禍でしばらく低調だった外国との交流が徐々に再開し、出張や来訪がコロナ前の姿に戻りはじめており、各国との間でこれまで築き上げてきた関係性を再活性すべく業務に邁進しています。

現在私が担当している渉外業務として、省内外のカウンターパートとの日々の調整や、高官の出張対応、外国政府機関の来訪対応及び在京大使館が主催する各種レセプションへの参加調整等を行っています。高官の出張対応においては、訪問先機関との日程調整や意見交換の議題調整等を実施し、外国政府機関の来訪対応においては、来訪機関との調整に加え、意見交換会への参加者調整や会場選定を行います。出張や来訪の終了後には議事録等を作成し、出張や来訪がどのようなものだったのかを成果物として残しています。また、上記の業務以外にも、外国政府から提供を受けた交換資料の登録や配布、オンラインを含む各種会議の調整といった業務を行っており、大きな案件から小さな案件まで多種多様な業務を行っています。

渉外業務は基本的に一人では完結せず、相手があって初めて成り立つものなので、各カウンターパートとの信頼関係の構築が何よりも大切であると日々実感しています。また、カウンターパートとの調



整を行いながら、次に自分が何をすべきかを考えながら業務を行う必要があることが渉外業務の大変な部分でもあります。特に、高官が対応する大きな会議等を担当する際は求められる完成度も高く、その分大変ですが、会議が無事成功した時は大きなやりがいを感じ

先日、私が担当した大きな案件があり、会議の約2か月前から 着々と準備を進めました。当日の会議では、中身の濃い意見交換が でき、カウンターパートを含む参加者からもお褒めの言葉をいただ き、自分のやってきたことは間違っていなかったと実感でき、自信に つながりました。

渉外業務の醍醐味の一つは、各国との意見交換会や交換資料の取得を通じて、国際情勢や様々な安全保障情勢に関する知見を深められることだと思います。分析業務とは違った観点から国際情勢について知見を深められ、知的好奇心が刺激される職場だと思います。また、同じ渉外業務を行っている先輩の中には、情報本部内外で渉外業務に携わってきた方がいるので、その先輩方にアドバイスをいただきながら自分の能力を伸ばすことができます。

渉外業務は、出張や来訪やそれに伴う準備等、仕事のスパンが長いものが多いですが、職場の雰囲気はとても和やかで、きびきびしていて、勤務しやすい職場です。会議での通訳を通じて語学能力を向上することもでき、自らの知見をより広げることができます。様々な経験、関心をお持ちの方の入省を心待ちにしています。

# あらゆる情報を総合的に分析 分析部

主に諸外国の新聞、雑誌、インターネットなどの公刊資料から情報を収集すると同時に、国内外の政 府・民間関係者との意見交換等からもたらされる交換情報のほか、電波、画像情報といった、情報本部 の他の部門が収集するあらゆる情報源(オールソース)から得た情報に基づいて、軍事のみならず、政治 的、経済的要因を含む様々な観点から総合的な分析を行う。

тковый словарь русского языка.

「いつ、どこから飛んでくるかさえ分かっていれば・・・。」それともこう

でしょうか。「もっと早く分かっていればそもそも石は飛んでこな

かったのでは?」「情報さえあれば手を打てたのに・・・。」誰もが求め

る情報の力、その力を生み出すのがまさにココでの仕事です。しか

し、相手は複雑な現実世界、我々が取り組むのは映画でも小説で

もないリアルワールドです。欲しい答えはそうは簡単に見つかりま

せん。手ごわいけれども相手にとって不足なし。あなたの腕前、あな

もちろん「石」というのは例えです。分析の対象は目に見えるもの

の時もあれば、形のない何かの時もあります。飛んでくるものとも限

りません。安全保障環境が複雑化する中、何に備えが必要なのか、

オールソースの情報を扱い、総合的な分析をして答えを出す。その

ためには、あらゆる知識を総動員しなければいけません。大変なこ

とですが一人で全てをやる訳ではありません。皆で知恵を絞って考

えます。しかし、個々の閃きがなければ何も始まりません。一人ひと

りがそれぞれの持ち味を生かしてアイディアを出していく、政策・運

用の判断に繋がる明日の「力」を生み出していく、そんなクリエイ

私が学生時代であった約三十年前には、まだ、情報本部はあり

ませんでしたが、語学能力を生かせる仕事を志望していました。語

学系職員として防衛省(当時は防衛庁)の機関に採用され、その

後、情報本部の勤務では分析官、主任分析官などの経験を積み重

ねてステップアップし、現在は分析部で一つの部署のマネジメント

ティブな仕事ができるのが分析部です。

たの冴えを存分に発揮できる、分析部とはそういう職場です。

語学系職員

情報を総合的に分析する業務に従事。語学力のみならず、国際 関係に関する知識、あるいは諸外国の軍事、安全保障問題等に 関する豊富な知見を有する分析官として中心的な役割を担う。

技術系職員

軍事技術に関する分析に従事。 分析業務の重要な一翼を担う。

# 画像·地理部

## 卓越した専門性を持って 幅広い領域で活躍するために

画像情報の収集・分析(IMINT)、地理情報システム(GIS)を活用したデジタル地 図の作成のほか、画像情報とデジタル3D地図等を活用し、世界規模で情報を分 析する地理空間インテリジェンス(GEOINT)を推進している。

分析官として、衛星画像 に写っている対象を、空

間と時間を軸に軍事戦略・戦術、技術、政治、 経済等の様々な観点から読み解き政策立案 部門等に提供するほか、海外に派遣される 自衛隊のオペレーションに必要な現地の地 図や地理情報を整備し提供。

語学力を活かし、 語学系職員 画像解析等に必

要な海外情報の収集を含む分析官 としての業務を行う。また、国際会議 の企画等を通じて、情報交流に従事。 技術系職員

分析官業務に加え、これ らの業務を効果的・効率

的に実施するためのハード・ソフトの研究開 発に関する業務を行う。データ構造、プログ ラミングやAIといった理工学の識見、システ ム設計等に関する知見もフルに稼働させて 同様に創造的な業務に従事。

## 明日の「力」を生み出すクリエイティブな仕事

語学系 平成7年入省

自分めがけて石が飛んできたらあなたはどうしますか?よけます を担う管理職の仕事をしています。 か?頭を覆いますか?超人でなければ目の前に石がきてから気付 いたのでは酷い結果になるでしょう。あなたはこう思うはずです。

今、私の部署には頼もしい分析官や専門官が何人もいます。皆 個性豊かです。あなたの先輩にあたる情報本部志望で入省した事 務官の人もいれば、陸・海・空幹部自衛官の人もいます。それぞれ 異なるバックグラウンドに根差した多様な知識・技能を持ち寄り、 協力し合って業務に取り組んでいます。皆の気持ちをひとつにまと めるのが今の私の役割です。

私の部署で総合分析を扱うテーマは、短期間のうちに仕上げて 日常的にユーザーに配布する小さなものから、結論を得るまでにか なりの期間を要する大きなものまで多種多様であり、ニーズに応じ た様々な情報プロダクトを作成しています。プロダクトの作成では、 扱うテーマによって知識・能力など相応の専門性の高さが求められ ますが、私の部署の全員が皆「熟練者」ばかりという訳ではなく、経 験はまちまちです。しかし、若手職員は、きめ細やかなアドバイスや 指導を受けられる体制となっており、また、プロダクト作成の基礎 的な事項を学ぶための教育なども受けてもらっています。その他、 部内外での各種研修や国内外の大学院留学などの門戸も開かれ ています。昨今、人材育成の重視はどこの組織でも叫ばれています が、実際、情報本部では、私が若い頃にはなかった制度や機会など が年々充実しています。職場を見渡すと、この間まで「新人」と思っ ていた人が、いつの間にか「一騎当千の強者」に成長していたりもし

私自身にももちろん駆け出しの時代がありました。気が付けば、 後輩の皆さんの成長の姿に目を細める年代です。明日の「力」を生 み出すクリエイティブな職場、そんな分析部に、新たな時代を切り 拓くあなたをお迎えできる日を心待ちにしています!

## 地理空間情報の整備業務

私は、高専時代の研究室で学んだ衛星画像の解析に関する知 識を活かしたいと思い、情報本部を志望しました。

画像・地理部ではGEOINT (Geospatial Intelligence=地理空 間情報)を扱っています。GEOINTのプロダクトは衛星画像や標高、 地形、植生、道路網、建物の分布等の地図データをもとに、例えば、 ある事案の地域的な特性等を空間分析して作成するものです。皆 さんのスマホに入っているGoogleMap等のナビアプリが示す目的 地までの経路等もGEOINTの一種と言えます。GEOINTのために は、正確な地図データが必要となり、衛星画像や様々な資料を活 用し最新の地図データを整備しておくことが重要となります。

私の業務では、地図データの作成を民間企業に依頼し、作成さ れた地図データが、定められた品質水準を満たしているかどうかを チェックしています。Pythonというプログラミング言語を用いて品

質のチェックに役立つツールを作成する場合もあります。また、他の 部署からの依頼に対し、日ごろから整備している地図データを基に レイアウトを整え提供しています。さらに、GEOINTによる高度な分 析を依頼されることもあります。

GEOINTについて学んだことがない方でも、教育や部外研修で 業務に必要な知識を身につけることができます。

情報の世界では同じ事象を多角的に分析する必要があります。 GEOINTと、皆さんの知識を駆使して情報を深化させ、国の安全に 貢献することができます。また、電子情報分野を学んだ方であれば プログラミングの知識等を活かして分析に役立てることができま す。GEOINTに関心があり、自身のバックグラウンドを活かしたいと いう方、是非お待ちしています。

#### 誰でもGFOINTのプロフェッショナルへ

事務系(高卒者) 平成22年入省

画像・地理部では、防衛政策の立案や部隊の運用に役立てるた め、衛星写真から読み取れる事象の分析や災害派遣等の際に部隊 活動の基本となる地図・地誌の作成・提供を行っています。さらに、 GEOINT(地理空間情報)の分析を行っています。あまり聞きなじみ のない言葉かもしれませんが、GEOINT分析は我々の身近な生活 にも様々な場面で活用されています。例えば、コンビニエンスストア やファストフード店の出店に際し、候補地の周辺にはどのような年 齢層の人が居住、活動しているのかといった人口統計のデータ、地 図データを用いて駅や住宅街からの距離による利便性、周辺の競 合店や商業施設との位置関係はどうかといった様々な観点から収 益が見込める箇所を適地として選定しています。これを防衛省・自 衛隊の任務に置き換えると、国際緊急援助活動の際など、周辺道

路へのアクセスの利便性、近隣住民への影響、治安、安全性を考慮 し、効率的に復興支援活動が可能な適地を活動拠点に選定すると いったことに活用されています。GEOINT分析は将来を予測すると いった高度なテーマにもチャレンジできる無限の可能性を有してい

学生時代は文系だった私も、当初は専門的な業務で難しそうと いった印象を持ちましたが、画像・地理部では教育の機会が充実し ており、また、経験豊富な上司や先輩も丁寧に教えてくれました。私 も同じように後輩の教育に取り組んでいます。GEOINTを活用した 業務に関心のある方、この分野でプロフェッショナルを目指したい 方は是非志望してください。

Defense Intelligence Headquarters 情報本部の各部・通信所の紹介 13

## 我が国唯一の電波情報部門 雷波部 通信所が収集した各種電波情報を調査・分析し、国の安全保障に必要な情報を日本政府をはじめ省 内および自衛隊の各部隊等へ提供している。職員は、専門性と秘匿性が極めて高い情報の最前線で、 強い責任感とやりがいを感じながら、それぞれが協力し合い、電波部門一体となって我が国の防衛 に大きく貢献している。 高い語学力や専門知識のほか、 IT技術、無線通信技術、暗号技術、数学等の専門知識を活か 柔軟な思考力やコミュニケーシ し各種電波の信号諸元を解明する業務、通信ネットワーク技 ョン能力を活かし、日々収集される情報の調査・分 術等に関する最新技術の調査・研究業務、ソフトウェア開発に関する業務及び収 析業務、政策や自衛隊の運用判断に資する各種報 集器材開発業務等に従事。専門知識・技能については、一つの分野に特化して高

#### 知的好奇心にあふれる場所

告資料の作成、情報の配布や関係機関との通訳業

務の他、企画・調整業務等を担当。

情報本部は縁の下の力持ちのような存在であり、普段の生活の 中で耳にしたことがある方はほとんどいないと思います。

私自身も、業務説明会で話を聞くまでは情報本部の存在すら知 りませんでした。そんな中、私が情報本部を志望した理由は、業務説 明会で聞いた業務内容や職場の雰囲気に魅力を感じたからです。

電波部の解析業務は、数学や通信工学、情報工学などの知識を 活用して、技術的問題の解決に向けて取り組む業務です。内容は理 論分野からソフトウェア開発まで多岐にわたっており、各自が長所 を活かしながら日々業務に取り組んでいます。一朝一夕には達成で きない専門的な内容もありますが、技術的知見を用いて安全保障に 直接貢献できることは、他では経験できない刺激的な業務です。

皆さんの中には、興味はあるけれど専門的な知識がないから自分 には難しいのではないかと不安に思う方もいるかもしれません。し かし、専門性の高い私たちの業務は、初めからすべてを理解している

#### 雷波部の仕事

私は、工業高校出身で3年生から公務員コースを選択し、学校に 置かれていた採用パンフを見て情報本部の存在を知りました。組織 の名前の響きや業務の内容に興味を持ち志望しました。採用後に 教育・研修を受け、通信所で経験を積み、現在は電波部で仕事をし ていますが、仕事をしていくうちに我が国を取り巻く国際情勢に危 機感を覚え、安全保障に貢献しようという意識を強く持つようにな りました。

電波部では様々な仕事があり、それぞれの部署で専門的な知識 及び技術を活かし、ほかでは経験できない仕事をすることができま す。専門的というと難しいイメージがあるかもしれませんが、電波部 は教育・研修が充実しており、新規採用者でも安心して仕事に取り 組めます。私が採用された当時も仕事についていけるか不安でした 技術系(大卒程度) 平成29年入省

度な能力を身につける或いは幅広い複数分野の知見を身につけるなど、個人の

素養や適性に応じて教育・研修等の機会を通じ成長。

人は当然いませんし、実際に活躍している技術系職員は様々なバッ クグラウンドを持って入ってきます。素養がないと活躍できないとい うことは一切無く、むしろ先輩方も専門知識や技術を少しずつ高め てきたという経験があるからこそ、情報本部の一員として一歩一歩 成長することを親身になって支えてくれます。また、研修制度も充実 していて、業務に必要な専門知識の教育だけではなく学会への参加 や国内外の大学院留学などの機会も用意されています。若手職員で あっても積極的に活躍の場を与えてくれるのも魅力の一つだと思い

安全保障における情報の重要性は今後ますます高まっていくで しょう。その中で、我が国唯一の電波情報部門におけるプロフェッ ショナルな存在として、自分自身の成長が組織全体の能力向上にも 繋がっていることを実感できる場所です。共に切磋琢磨しながら皆 さんと働ける日を心待ちにしています。

技術系(高卒者) 平成26年入省

が、入省直後の新規採用者教育に加え、数か月にわたる導入教育に より、什事の内容等を把握し、戦力になることができました。国際情 勢により様々なミッションが課されますが、電波部の面白いところ は、自衛官や事務官等の官種や年齢関係なく、知識を集結させ、問 題を解決し業務を遂行するところです。事務官・技官・自衛官が一丸 となって業務に取り組むため、やりがいを感じる場面が多々あり

電波部の仕事は、自分が見たり、聞いたりした情報が我が国の安 全保障につながる重要な仕事です。「昨今、公務員はスキルが身に つかないため不人気だ」と耳にしたことがありますが、電波部は違い ます。自分自身のスキルアップもしながら、公務員になりたいという方 は是非、情報本部を志望されてみてはいかがでしょうか。

通信所

電波情報の収集・整理等の業務に必要な各種通信、情報処理等を含む教育プログラムや研修を修了した後、各通信所 に配属され、それぞれの適性に応じて、IT技術(情報セキュリティ、ネットワーク、プログラミング等)、無線通信技術及び 語学等を含む専門知識の向上、技能の習得を目的とした課程を経ながら、各分野における高い専<mark>門知識を</mark>備えたプロフェッショナル集団 の一員として、高度な電波情報収集器材等を駆使し、極めて秘匿度の高い電波情報の収集・整理等の業務に従事する。「日本の耳」として、 直接支える仕事を行っており、「国防の最前線の現場で勤務している」という緊張感と強い責任感を持って全国各地で活躍している。また、 将来的には電波部に勤務することも可能で、本部機能の一役を担う業務を行うなど、自身の実力を発揮しやすい環境となっている。

電波情報を収集する「日本の耳」

我が国上空に飛来した軍事通信電波などを収集するとともに、収集した情報を迅速に整理・調査し、

必要な情報を関係部署に提供している。通信所では一般職(高卒者)試験からの採用者が、自衛官と

ともに、こうした業務の実務を担っている。自らが収集・整理した電波情報が我が国の安全保障の一端

を支えているという高い誇りと強い責任感を保ちながら、日々の業務に従事している。

## 国防を支える組織の一員として

私は学生時代に勉強した無線通信の知識を活かせる職場を探し ている際、ニュース等で活躍している自衛隊の活動に関心を持ち、 情報本部の採用パンフレットを見て、更に興味を持ったため志望し ました。

私が勤務している通信所では、事務官・技官と自衛官が電波情報 を収集・調査した後に、関係機関等へ情報提供する「日本の耳」とし ての業務を行っています。収集する情報は膨大かつ日々変化してお り、その中からユーザーが必要とする情報を調査し速やかに提供す る業務は大変ではありますが、国防の資となると思えば緊張感と責 任感も生まれ、大変やりがいのある仕事です。また、電波情報を収集 する器材は通信技術の発展と共に更新され続けており、通信技術 の知識や効率よく器材を運用するため、自身の能力を向上するなど

技術系(高卒者) 平成15年入省

常に新しいことに挑戦し続ける必要があり、スキルアップを図りなが ら充実した日々を送ることができます。

通信所には様々な業務があり、どの業務にも専門的な知識や技 能が必要ですが、基本的な知識や技能は入省後の教育・研修によ り修得した後、業務を行います。実際の業務は、修得した知識を活 かしつつ経験豊富な上司や先輩の丁寧な助言を受けながら行うの で、安心して勤務することができます。

通信所同様、情報本部には様々な業務があり、その都度知識を 広げる機会に恵まれ多様な経験をすることができるので、日々自身 の成長を感じながら働くことができます。

皆さんと一緒に働くことができる日を楽しみにしています。

#### 情報の力で守る

私は情報本部の採用パンフレットを見て、情報の力で国防を担う ことができることに興味を持ち、高校卒業後に情報本部に入省しま した。入省後、新規採用者教育や導入教育等を経て、現在は通信所 で業務をしています。

昨今の情勢において、情報業務はとても重要な分野であり、通信 所では、毎日電波情報の収集を行っています。情報業務ではITの 知識等、高い専門性が求められ、入省当時はとても不安でしたが、 入省後の様々な研修や教育のおかげで、幅広い知識を得ることがで きました。入省前に必要とする資格等はなく、向上心さえあれば、入 省後も成長し続けることができる職場です。

職場の雰囲気に関しては、事務官・技官と自衛官が一緒に仕事を

技術系(高卒者) 平成29年入省



行うため、とても明るい雰囲気で業務に取り組むことができます。ま た、私生活に関しても、プライベートの時間がしっかり確保されてい るため、ワークライフパランスが実現できる職場です。

陸海空自衛隊では数多くの装備品等が活躍し、とても注目されて いると思いますが、情報本部の仕事は、我が国の安全保障の最前線 でありながらも、正直あまり目立つことのない仕事です。私たちの仕 事は表舞台で活躍するようなものではありませんが、国防において は非常に重要で、必要不可欠です。私たちは、自身の仕事が陰なが ら国を守っていることに、とても誇りを持っています。皆さんと一緒 に、情報の力で国を守っていくその日を心待ちにしております。

Defense Intelligence Headquarters 情報本部の各部・通信所の紹介 15

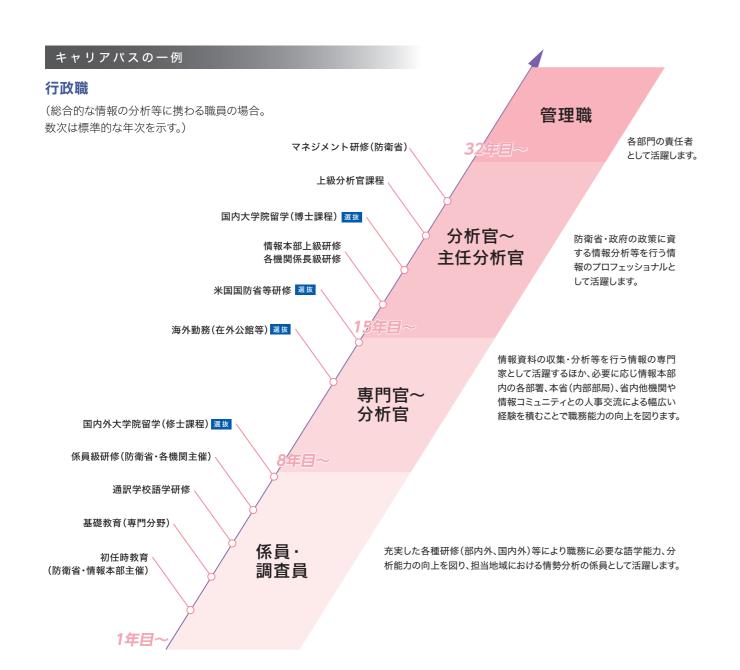
# 防衛省専門職員採用試験

概要

防衛省専門職員採用試験の試験区分「英語・ロシア語・中国語・朝鮮語・アラビア語・インドネシア語・フランス 語・ペルシャ語」の合格者から、高い語学力と我が国の安全保障や諸外国・地域の情勢(政治・外交・文化・民族問 題等)への関心があり、論理的思考能力や表現能力に優れた人材を採用します。年度により採用区分が異なる場 合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブサイトでご確認ください。

美務内容

専門語学能力を駆使して、国際関係や軍事情勢など日々収集される情報の処理や分析、安全保障に資す る各種資料の作成、報告、国内外関係機関等との情報交換にかかわる業務等に従事します。



#### メッセージ



#### 新しいことにも好奇心を持って 挑戦する人向きの職場

大学で英語学を専攻し、英語を活かせる仕事がしたい と思っていたところ、大学でポスターを目にし、受験を決 めました。

情報業務では、日々変化する国際情勢、進化を続ける 様々な技術やその趨勢を分析し、分かりやすい情報資料 にまとめ、カスタマーにタイムリーに提供することが重要 です。何が起きているのか速やかに理解するには、国際情 勢や装備品、技術等に関する知識が必要で、私の場合は、 関連する書籍を読んだり、大学院留学も含めた様々な研 修で学んだり、また配置先の専門的知識を持った上司や 同僚から話を聞いたりして蓄積してきました。キャリアの 途中では渉外、調整等、情報資料を使う側の業務も経験 しましたが、その時の経験や視点も、その後の資料作成時 の参考になっています。

情報業務は何にでも好奇心を持ち、新しいことにも挑 戦してみたいという人に向いている仕事だと思います。皆 さんと一緒に勤務することを楽しみにしています。

私のキャリアパス	
教育・研修	配置先・業務内容
中級研修 (現:本省主催係員級研修) 6年目	航空自衛隊 翻訳、渉外の業務を経験
語学研修 7年目	情報本部分析部(専門官) 部内で複数の課を経験。担当分野 について知識を深めつつ、分析能
国内大学院留学 9年目	力を研鑽
上級研修 (現:本省主催係長級研修) 15年目	分析部(分析官) 後進の指導も開始
16年目	内部部局国際政策課 情報のカスタマーの立場に。国際 会議にも参加
米国シンクタンク研修 17年目:	
18年目	分析部
20年目	総務部、内部部局秘書課 人事や研修を担当
24年目	電波部(班長)
28年目	計画部
上級管理職育成研修 30年目	分析部
31年目	分析部(課長)
¥	



係員級(入省2~5年)

○専門官級(入省10年前後) ○分析官級(入省15年前後)

#### 情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください。

- ●国内外の留学や各種研修(語学研修等)・教育が豊富であり、職場 の同僚との議論や豊富な研修により、日々成長を実感できる。
  - 若手のうちから、情報のイチ専門家として高官等への報告等の仕事 を任せてもらえる。

#### 仕事で普段心がけていることを教えてください。

- 多角的な視点を取り入れること。自分の担当だけではなく、他の分野 に関する情報も積極的にインプットし、資料作成にあたっては同僚 や上司等の意見も聞き入れるようにしています。
- ◎若手職員を指導するにあたっては、各人の個性は多様であることを 前提に、長所を生かすよう心がけています。本人が成長を感じられる 成果を出すことが理想だと考えています。

#### これまでの勤務で印象に残ったエピソードを教えてください。

●自分が作成に関わった資料を基に政策判断がなされたこと。情報が 政策決定にとって重要であると身をもって実感。

#### 入省前にやっておいて良かったことを教えてください。

●学部生の方は、卒業論文にしっかり向き合うと良い。インターネット や図書館で可能な限り多くの情報を収集・整理し、そのうえで自分の 考えを他者に伝わるように示すことは、情報業務のあり方の1つである と思います。

#### 情報本部を目指している学生へのメッセージ

●私は学生時代に人文学を学びましたが、業務の中で、学生時代の学 びから新しい発想や視点を得る事がありました。

安全保障や軍事を学んで来なかった方でも、情報業務に興味があれ ばぜひ挑戦してほしいです。

- ) 昨今の国際情勢の中で、益々情報分野の重要性が増し、情報本部に 期待されることも増加しているように感じます。興味を持った方に は、ぜひ情報本部を志望して頂き、国際情勢の一端に携わる一員に なって欲しいと思います。
- ◎情報本部は、マイペースでコツコツ積み上げるのが好きな人、若干拘 りが強い人に向いていると思います。そうした自覚のある方は是非志 望してください。

Defense Intelligence Headquarters 防衛省専門職員採用試験 17

## 国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)

概要

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)の試験区分「行政」。「デジタル・電気・電子」(旧「電気・電子・情 報」)及び「機械」(以下、「技術系」という。)の合格者から採用します。なお、技術系からの採用者は、配置される職 務によって俸給表(行政職又は研究職)が決定されます(入省後、配置換え等により変更する場合もあります)。

このほか、国家公務員採用総合職試験の合格者から採用することがあります。

年度により、採用をする試験、試験区分が異なる場合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブ サイトでご確認ください。

業務内容

- ・人事、給与、会計、器材調達、情報保全・保証、情報システム管理、各種事業計画の策定等
- ・衛星写真の解析、デジタル地図の作成、地理空間情報の分析等
- ・統計・代数学、通信工学等の知識を用いた、各種電波信号の解析や収集した電波情報の解析
- ・情報に関する最新技術の調査や通信処理、高速処理技法、符号機構の研究や解析をするための ソフトウェアの開発

#### キャリアパスの一例

#### 行政職

人事・会計等の業務、衛星画像の 解析等に携わる職員の場合 (数次は標準的な年次を示す。)

(防衛省・情報本部主催)

国内留学(修士課程)選抜 係員級研修(防衛省・各機関主催) 基礎教育(専門分野) 初任時教育

マネジメント研修(防衛省) 情報本部上級研修

係員·

調査員

各機関係長級研修

マネジメント研修

(防衛省)

研究員·

専門官

係長·主任

専門官 15年月

各部門における初級管理者として活躍するほか、必要に応じ 本省(内部部局)、省内他機関等との人事交流により幅広い

理者として活躍します。

各部門の責任者として

活躍します。

専門的知見を駆使し各部門における中級管

各部門の責任者として

活躍します。

専門的知見を駆使し各部門における中級管

・行政区分採用者は、主に総務系の部署に配置され、人事・会計等の管理業務を 担い、幅広い業務に従事します。

経験を積むことで職務能力の向上を図ります。

管理職

・技術系採用者は、入省後、約半年間は情報本部の組織・機能等への理解を深 めるため、主に総務系の部署に配置されます。その後、充実した各種研修(部内 外、国内外)等により職務に必要な専門的知識・技術を習得し、衛星写真の解 析、デジタル地図の作成、地理空間情報の分析等の担当係員として活躍します。

管理職

主任研究官

#### 研究職

電波情報の解析に携わる職員の場合 (数次は標準的な年次を示す。)

1年日

情報本部上級研修 各機関係長級研修

国内留学(修士課程)選抜 係員研修(防衛省・各機関主催) 基礎教育(専門分野) 初任時教育

入省·係員 (防衛省・情報本部主催) 1年日

入省後、約半年間は情報本部の組織・機能等への理解を深めるため、主に総 務系の部署に配置されます。その後、充実した各種研修(部内外、国内外)等 により職務に必要な専門的知識・技術を習得し、電波情報の解析、処理をす るためのソフトウェアの開発等、各種情報技術の専門家として活躍します。ま た、必要に応じ、省内他機関との人事交流により視野の拡大を図ります。

理者として活躍します。

技術系(大卒程度) 平成6年入省

#### 専門知識を活かせる職場

私は、就職雑誌で防衛省(当時:防衛庁)が技術系職員 を採用していることを知り、大学の専門である応用数学を 活かせると考え、受験しました。

入省後は、主に電波部において解析業務に従事してき ました。電波部の業務は、安全保障にかかわる情報を技 術で支えており、技術系職員としての充実感を得られる業 務であると思っていますが、このような思いは、勤務経験 を重ねる中で、益々強くなっています。また、機関交流とし て配属された防衛装備庁での業務経験は、新たな業務の 要領や考え方を学ぶとともに視野を広げる良い機会とな りました。

電波部では、入省後の部内教育のほか、大学院研修等、 能力向上の機会が数多く存在しており、各自の専門を活 かして業務に携わり、さらに適性に応じ主任研究官及び 管理職として活躍する可能性があります。電波部は、技術 系の専門知識やの応力を仕事に活かせる職場です。我々 の業務に関心のある方は是非、情報本部を目指してみて ください。

#### 私のキャリアパス

教育·研修 初任研修 部内初級教育

技術的内容の実務教育

陸上幕僚監部調査部 1年日 研究職技官として採用。初任研修、 部内初級教育後、業務に従事。

配置先・業務内容

情報本部電波部 電波諸元の解明に関する研究業務

技術研究本部(※)併任

国内大学院留学 (修士課程(防衛大学校研究科) 5年目

3年目

11年目 (~12年目) ※現:防衛装備庁 装備品の研究開発業務

13年目 行政研修(人事院)

幹部英語課程(陸自)

マネージャー研修

(技術研究本部)

電波部(主任研究官) 14年目 電波諸元を解明する業務、ソフト

ウェア開発業務 17年目

> 技術研究本部へ異動 装備品の試験評価業務

電波部(班長) 電波諸元を解明する業務

電波部(班長)

通信技術の調査・研究業務



●係員級(入省2~5年) ○係長級(入省10年前後) ○主任研究官級(入省15年前後)

19年目

23年目

27年目

#### 情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください。

- ●仕事のオン・オフがしっかり切り替えられる職場。自学研鑽が必要な 専門性の高い業務ですが、若手職員もフレックスタイム制や休暇な どを活用しプライベートを充実させています。
  - ○情報本部は、様々な分野の専門家が協力して仕事をしており、新た な知識を得られ常にスキルアップできる職場。

#### 情報本部を志望した理由を教えてください。

情報本部の中でも画像・地理部や電波部は特に技術力を活かせる 領域であり、自分も大学等で培った専門性を活かした仕事をしたい

#### 仕事で普段心がけていることを教えてください。

- ●些細なことでも疑問に思ったこと、気づいたことはすぐに上司や先輩 に質問することを心がけています。そこから理解が深まったり、思い がけない発見につながることもあります。
  - 知識や仕事の要領など、今が最善と思わず、常にアップデートするこ とをを心かけています。

○上司、同僚、関係部署とのコミュニケーションを大切にしている。意 見をもらうことで、自分とは異なる視点からの仕事へのアプローチに 気付けることもあります。

#### Q 入省前にやっておいて良かったことを教えてください。

- ●卒業研究は、学生のうちにしか経験できないため、全力で取組むと 良いと思います。培った物事の取組み方や考え方は現在も役に立っ ています。また、入省後はPC作業が多いため、PCスキルを身につけ ておくと役に立つかもしれません。
- 英語は、調べながらでも読んだりできる程度にでも勉強しておくと、 色々と役立つのではないかと思います。

#### 情報本部を目指している学生へのメッセージ

- ●国防という誇りある仕事は知れば知るほど奥が深く、何年経っても 新鮮な気持ちになれます。情報本部は皆さんの持っている知識や経 験を活かすには最高の場所だと思います。自分らしく自然体で頑 張ってください。
- 活躍の仕方は様々用意されています。ご自身のやりたいことを大切に したうえで、志望していただければと思います。

## 国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)

概要

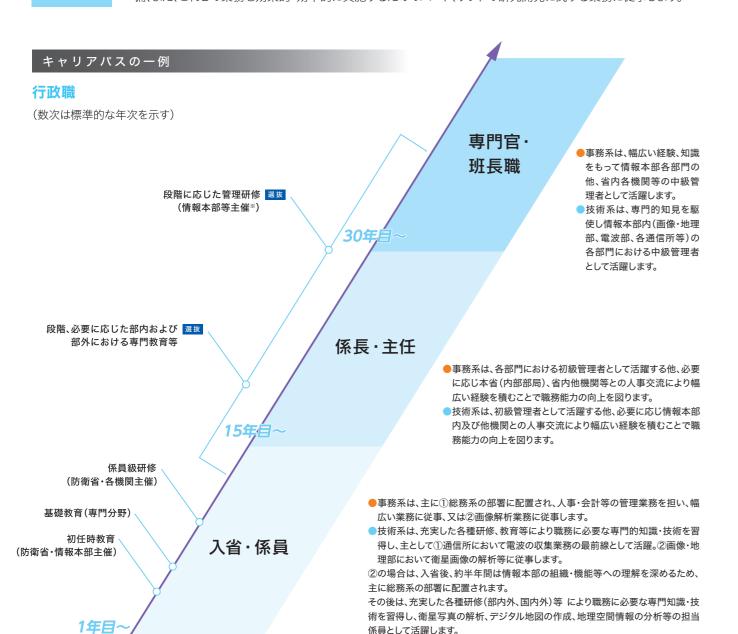
国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)の試験区分「事務」「技術」合格者から採用します。

年度により採用をする試験区分が異なる場合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブサイトで ご確認ください。

業務内容

事務系は、①人事、給与、行政文書管理、会計及び物品の管理等の幅広い業務に従事、又は、②画像解析等業務 に従事します。

技術系は、①IT、プログラミング、語学等を含む専門知識の向上、技能の習得を目的とした課程を経ながら、電 気・情報、機械等の高い専門知識を備えたプロとして、各通信所における電波情報の収集・整理等の業務に従事、又 は、②衛星画像の解析や海外任務に派遣される自衛隊部隊のオペレーションに必要な現地の地図や地理情報の整 備、また、これらの業務を効果的・効率的に実施するためのハード、ソフトの研究開発に関する業務に従事します。



#### 技術系(高卒者) 平成9年入省

#### 将来予測の分析ができるプロに

安定した公務員を志望していた私は、防Ⅲ種技術系試 験(現「一般職(高卒者)試験」)を知り、専攻していた電気 工学の知識を活かせると思い受験しました。

入省後は、通信所、内部部局、防衛装備庁において多 岐にわたる業務経験を積み、現在は3度目の勤務となる 画像・地理部で衛星画像の解析業務に携わっています。 研修では、技術系でありながら語学にも挑戦、担当国の 言語や文化を知り、自らのスキルアップに繋がったととも に、その国の立場になった考え方を業務に反映できてい ると実感しています。教育はとても充実しており、部外では 3Dモデル作成など様々な教育を受講できるため、情報の プロを育成できる環境が十分にあります。

現在、画像情報とデジタル地図等を融合させる GEOINT(地理空間情報)という新しい分野に挑戦し、こ れまで培ってきた情報の知識や解析技術を駆使して、将 来を予測した分析ができる面白さがあります。なお、これ には発想力が重要です。

情報本部を志してくれる皆さんとともに働ける日を楽し みにしています。

#### 私のキャリアパス 教育·研修 配置先・業務内容 初任研修 部内の初級教育 通信所 技術的内容の実務教育 1年日 電波情報の収集業務に従事 3年目 画像部(当時) ※現:画像·地理部 配置当初は庶務業務、その後、衛星 画像の解析業務に従事 7年目 航空写真判読研修 9年目 語学研修 内部部局調査課(係長) 15年目 各府省庁との調整、情報保全を担当 画像·地理部 17年目 衛星画像の解析業務に従事 18年目 係長級研修(本省主催) 内部部局国際室(係長) 19年目 大臣等の外国出張や外国要人との 会談に関する経費の管理を担当 防衛装備庁プロジェクト 21年目 管理部(係長) 国会対応の窓口、庶務業務を担当

#### 職員の声

●係員級(入省2~5年) ○係長級(入省10年前後) ○専門官級(入省15年前後)

画像·地理部(班長)

GEOINTを用いた解析業務に従事

22年目

#### 情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください。

- 情勢の動きや変化等を身近に感じ、業務を通して国の安全保障への 貢献を実感することができ、他ではできない経験を得られること。
  - ●専門的な知識・技術を要する業務を行うため仕事をしながら自身の スキルアップにつながる点。
  - ●教育・研修が充実している点。

#### 仕事で普段心がけていることを教えてください。

- ●コミュニケーションを取ること。上司や先輩方とコミュニケーション を取ることで業務の連携やミス防止に繋がるためちょっとしたことで も情報共有するように心がけています。
- 新聞やTV、ネットを通じ国際情勢に目を配り、注目されている事象 を把握し、自分に何ができるかを考えモチベーションを保つようにし
- ○自分の分析結果が、真実に近いかどうか、常に検証することです。 誤った情報から、ユーザーが誤った判断を下すことは最も忌避すべ きだからです。故人曰く「過ちて改めざる、これを過ちと言う」

#### これまでの勤務で印象に残ったエピソードを教えてください。

- ●通信所で勤務していた際に重要な業務をこなし、組織に貢献するこ とができました。一緒に勤務している自衛官、事務官・技官、多くの人 が自分のことのように大喜びしてくれました。
  - 自分が収集した情報が上級部署の整理を経て内閣総理大臣や内閣 情報官等まで上がっていき、高い評価を得たことを上司から聞いた ときは、とてつもない嬉しさと達成感を得ることができました。

#### 入省前にやっておいたほうが良いことを教えてください。

防衛予算の大幅増額等の影響で、今後の防衛政策は従来から変化 したものになることが予想されます。将来「売り」となる分野を入省 前に見極めておくと、より楽しく仕事に取組めるかもしれません。

#### 情報本部を目指している学生へのメッセージ

- ●情報業務というと専門的で難しいイメージがあると思いますが、情 報本部は教育・研修が充実しているので、普通科高校の学生であっ ても全く問題ありません。未来の後輩をお待ちしています。
- 入省後、正直、大変なこともあるかと思いますが、方向性をもって努 力すれば国のため自分のために良い仕事ができると思います。

## 情報本部で得られる機会

#### 留学

国際情勢を分析する上で必要な安全保障に関する知見や各技術分野における解析に必要な技能・知識を得るため、国内外の様々な大学院(修士課程・博士課程)への留学の機会があります。

#### 学問と実践の交差点



私は、分析部や統合情報部等で約8年間勤務した後、米国留学の機会を頂きました。留学先は、ワシントンD.C.に位置する大学の安全保障学修士課程です。豊富な実務経験を有する教授陣による指導の下、米国防省や国務省をはじめとする政府機関等でのキャリアアップを志すクラスメート達と共に様々な議論を重ねながら、業務に必要な知見の習得に励んでいます。

主な研究対象は、米国の安全保障政策、インド太平洋の軍事情勢及びサイバーや宇宙といった新領域の動向等です。在籍する課程では、こうした分野における歴史的・理論的知見を如何に実践に応用し得るかを学べるため、卒業後はこの経験を土台として、国際情勢をより深く多面的に分析することで、日本の防衛政策に貢献していきたいと思っています。

情報本部の魅力の一つは、このように学びの機会とそれを活用する機会があることです。知的好奇心が旺盛な皆さんと働ける日を心待ちにしています。



ワシントン記念塔



キャンパスの様子

#### 個人の選択を尊重する組織

技術系(大卒程度) 平成15年入省

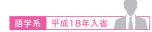
情報本部において10年程度勤務した頃、大学院留学について打診がありました。自分の成長のために大きなチャンスである留学をかねてから希望していましたが、その当時は担当業務にも慣れ、それなりに成果を出せるようにもなっていた頃であり、2年とはいえ業務から離れることに多少の不安を持ちました。また、当時、子供が小さかったため、遠方の大学院へ留学することは避けたいとも考えていました。このような点について、その当時の上司に快く相談にのっていただき、最終的には自分の興味のある情報科学の分野で近郊の大学院に進み、子供を育てながら通学をするという選択を採ることができました。また、卒業後は、新たな業務を担当することとなり、留学で得られた経験は、大いに役立っていると感じています。

情報本部は、その人の希望や家族の状況を親身に聞き入れてくれる、また、尊重してくれる稀有な組織だと感じています。

## 在外公館出向

外務省に出向し各国の在外公館で勤務する機会があります。現地情勢を肌で感じるとともに、外交という立場から我が国と任国の情報に携わることにより、その後の情報本部での勤務に活かすことのできる多種多様な経験をすることができます。

#### インド太平洋の中心地より



在インド日本国大使館において、インド政府や当地外交団との調整等のほか、インド及び周辺国の動向把握に従事しています。

インドは、言語・宗教等の多様性に富み、高い経済成長率を誇るほか、地政学的に重要な位置にあり、全方位外交を積極的に展開しています。台頭する大国のダイナミズムを間近で見られることは、何にも代えがたい経験です。

在外公館での業務は、情報業務とは異なる側面があり、貴重な学びの場ともなっています。また、他省庁からの出向者も多く、その点でも得るところが多いです。

情報本部においては、在外公館への出向以外にも様々な経験を得られる機会が用意されています。このような機会を通じ、自己の能力を高め、我が国の安全保障にともに貢献してみませんか。



黄金寺院(シーク教聖地)



インド門(戦没者慰霊碑)

## 機関交流

#### 「専門性」という囲いに閉じこもらない人へ



新たな領域、新たな戦い方…。よく目にする言葉ですよね。現在、内部部局で、その取組みに携わり、新たな気づきのある日々です。 情報本部には計15年以上、電波、分析、計画、統情部で勤務(他、省内の政策部門も)。振り返ると、何も知らずに情報本部に来た私は、業

務を理解することすら一苦労。ようやく一人前になったと思った頃に異動。その都度業務が変わり、培った専門性が失われるかもと不安にも。 しかし、どこでも必ず学びがあり、次に活かせる実感があり、それは情報業務をする上で幅を広げてくれると今では思います。

情報本部に入っても、やりたい仕事ができるとは限りません。ただ、情報業務には「ここまででいい」という限界もない。全てが何かに通じています。専門性がないからと躊躇は不要。むしろ、好奇心と探求心そして柔軟性こそが必要です。自分の「好き」を大事にしながらも、自ら制限を設けず、情報本部で「好き」を広げてほしいと思います。



**22** Defense Intelligence Headquarters 信報本部で得られる機会 **23** 

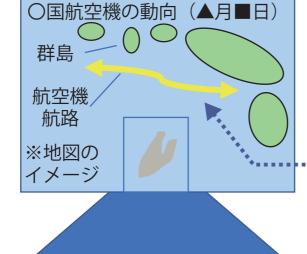


プロダクト(分析の成果物)が完成されるまでの流れ(一例)

●島及び周辺の○国の活動状況 XXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 計画部が本部内の XXXXXXXXXXXXXXX 窓口となって「〇国の XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 活動状況を知りたい」 といったカスタマーの XXXXXXXXXXXXX ニーズを受け、関係各 部と調整する。 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 

分析部が、公刊資 料、国内外の政府・民 間関係者との交換情 報のほか、電波情報、 画像情報といった、情 報本部の他の部門が 収集するあらゆる情 報源(オールソース) から得た情報に基づ いて、総合的に分析す る。

画像地理部が、 衛星画像に写ってい る対象を、空間と時 間を軸に軍事戦略・ 戦術、技術、政治、経 済等の様々な観点か ら読み解く。



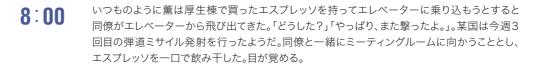
●島の状況(▲月■日撮像) 滑走路 武器庫 ※衛星写真の イメージ

我が国上空を飛来する 各種電波を通信所 が収集し、信号諸元を 電波部で解明する。 自衛隊の運用に関わる 場合、 統合情報部が分析

する。

情報本部内だけでな く、省内外のカスタ マーに分析した結果 を担当者がプレゼン することもある。

「このストーリーは、情報本部に勤務する複数の分析官(アナリスト)の業務体験を踏まえ、生起しうる事象を 一日に凝縮して書き起こしたセミ・フィクションです。」





A棟1階では、すでにマスコミの人たちが集まり始めていた。 8:10

同僚とともに向かったミーティングルームでは本部長、情報官など関係者がそろっており、どの ような発射であったのかおおむね整理されていた。

大臣報告用のプロダクトがまとめられ、必要な関連情報とともに本部長に託し一旦執務室に



情報官から、今回の発射の意図と今後の見通しについて、関係国の意見も聴取したうえで本日 8:30 中にまとめるように指示あり。薫はあらゆる情報源(オールソース)から得た情報に基づき、総合 的な分析を行う分析部所属なので、各部の意見を取りまとめる必要がある。各部に情報を持ち 寄ってもらうよう依頼しつつ、30分後の9時にミーティングを設定した。

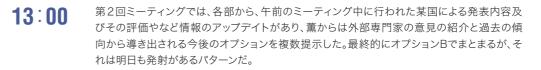


ミーティングでは議論が白熱した。各部の担当からは、自衛隊のレーダー情報、関連する画像 9:00 情報、今回の発射の技術的特徴などが説明され、それぞれの見立てについて突っ込んだやり取 りが行われた。「今回の発射は我が国を射程に含む新型ミサイルの試験であり、実用化に向け た最終段階である可能性大」という薫の評価に異論はなかったが、今後の見通しについては議 論が収束しない。それぞれの分野のプロフェッショナルなので、簡単に意見は折り合わない。エ ビデンスとロジック、あとは洞察力と直感が必要だ。論点を各部に持ち帰り、13時からの第2回 ミーティングで再度議論することとなった。

関係国とのオンライン会議が15時に設定された。それまでに情報本部としての仮評価をまと 10:00 める必要がある。



午後の議論に備えて厚生棟で牛丼特盛を注文。 12:00 職場の同僚と一緒だが、扱っている情報が機微であるため保全区画の外で仕事の話はしない ことにしている。





関係国とのオンライン会議での薫の説明に対してカウンターパートのアナリストは、今回の発 15:00 射の評価については同意、今後の見通しについては若干見解が異なった。薫は十分な議論を 経て得た結論に自信があったので、様々な角度からの考察を交えてさらに説明した。先方も納 得してきた。

情報官に報告。情報官から矢のような質問が立て続けにあったが、すべてミーティングで議論 16:00 した点だ。納得した情報官と一緒に本部長報告を実施することになった。

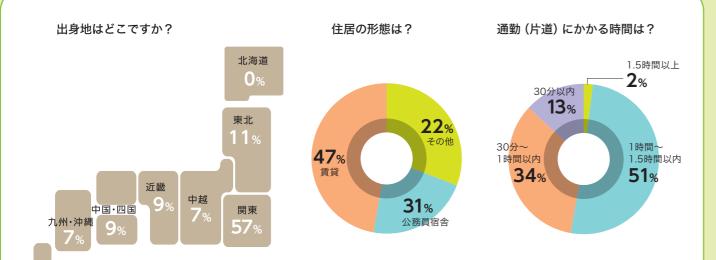


**17**:15 本部長から、お褒めの言葉をいただき、定時退庁。



Defense Intelligence Headquarters 情報本部の知の結集 / ある分析官の | 日 25

## 若手職員アンケート ~採用1~3年目職員に聞きました!~



■ 語学系 ■ 技術 (大卒程度) ■ 事務・技術 (高卒者)

#### 有効だった試験対策を教えてください。

- 防衛白書の外国語版を読んで、専門用語を覚えたこと。
- 過去の試験問題を開示請求し、試験当日同様の時間、雰囲気で練習したこと。
- ■面接では大学で学んだことと志望動機の関連性を考えました。
- 面接・論文試験対策として、新聞やニュースなどはよく目を通していた。
- ▼採用パンフレットをよく読むこと。仕事内容のイメージがつき、面接対策にも繋がった。
- 友人等との面接練習。自分の長所や短所を第三者目線で知ることができ、面接の改善点も見つけることができた。

#### 採用までにやっておいて良かったことを教えてください。

- 後悔しないくらい友人等と遊びつくす(採用言語に限らず多数の回答がありました)。
- 時間のあるうちに、採用言語以外の言語にも触れてみたこと。
- 採用言語のニュースや新聞記事等を意識的にチェック。
- ■国際情勢や防衛省に関するニュースにアンテナを張っておくと良い。
- 学生時代とは生活環境が大きく変わるため、数週間前から生活サイクルを変えていた。
- ワードやエクセルの使い方を知っていたので資料作成などに少し役に立った。
- 家から職場までの通い方(ルート)を複数見ておくこと。

#### 採用前後で感じたギャップがあれば教えてください。

- 想像以上に教育体制がしっかりしていて学ぶことが多い。
- 採用前は体育会系のイメージだったが、実際は穏やかな職場。
- 敷地が広すぎる(正門から事務室までが遠い)(苦笑)。
- 想像よりも職場の雰囲気が明るく、優しい方が多かった。
- 想像していた堅苦しさが良い意味で少なく、周りの方との距離感もちょうど良く働きやすいと感じる。
- 黙々と仕事するイメージだったが、実際は明るい雰囲気でよくコミュニケーションをとる職場だった。
- 多忙というイメージがあったが、休暇を取得しやすくプライベートを充実させることができる。
- ペワヨラヤコカブシヲイオケリトヲノトラヨニアヒナハアヨワヘヤギイクセトルアガプソビハニサイ テトナネイネグガイナゴンイチブルノノヤギケワダヨルカプ



# Work & Life Balance ワークライフバランスを支える制度

全ての職員が働きやすい職場となるように、育児や介護等と両立して活躍できる勤務環境の整備に取り組み、職員の仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を推進しています。

## 年次休暇(20日/年)

※4月1日採用の場合、採用の年は15日。 残日数は20日を限度に翌年に繰越

## 特別休暇

年末年始(6日)/夏季(3日) 結婚・忌引き

GW、夏季、年末年始は、取得時期をずらす等の工夫をしつつ、 10日以上の休暇が取れるように取り組んでいます!

## 出産に関する休暇

産前・産後休暇/配偶者の出産特別休暇/育児参加のための特別休暇

妊産婦の保健指導・健康診断のための特別休暇/休息・捕食のための特別休暇/ 通勤緩和のための特別休暇/出生サポート(不妊治療に係る通院等)のための特別休暇

## 育児に関する休暇

男性職員の 取得率<sub>※</sub> 55.6<sub>%</sub>

育児休業/保育時間確保のための特別休暇/子の看護のための特別休暇

※令和3年度中に子が生まれた男性職員の育児休業取得率(国家公務員全体:34.0%)

## その他の制度

介護休暇/配偶者同行休業/フレックスタイム制/テレワーク 育児時間/育児短時間勤務/早出遅出勤務/超過勤務の制限 等

上記は一例です。 制度の概要等、詳しくはコチラをチェック







#### 防衛省専門職員採用試験

#### **Q** どれくらいの語学力が必要とされますか。

▲ 専門職員には、語学力を駆使し、各言語で発信される様々な情報を収集し、日本語でまとめる能力や、各国のカウンターパートとの交流における渉外・通訳業務を行う能力が求められていくことになります。採用試験に合格するだけの語学力があれば、入省後の語学研修や業務経験を通じ、語学力を向上させていくことができます。

#### **↓** 採用言語以外の言語を活用することはできますか。

▲ 情報本部では、例えば、試験区分「英語」で採用されても、その他の言語の語学力も活かして活躍している職員が少なからずいるなど、語学力を発揮できる舞台が広がっています。 情報本部であなたの語学力をいかんなく発揮してください。

#### 

▲ 情報本部で行う業務において、分析業務は柱となる業務ですが、そのほかにも、渉外、調整、企画、行政等に関する業務があり、専門職員もこれらの業務を経験することがあります。また、省内の他機関、他省庁等においても、同様の業務を経験することがあります。こうした多様な経験を積むことで、カスタマー目線を養い、俯瞰的視野を持つ情報のプロフェッショナルとなることが期待されています。

#### □ 過去の試験問題は入手できますか。

▲ 情報公開制度に基づき請求することができます。ただし、 お手元に届くまでに2か月程度かかりますのでご注意くだ さい。なお、論文試験問題は防衛省ホームページにおいて 公表しています。

#### 

▲ 1年目における素養教育に始まり、分析官を育成するため、 段階的な教育・研修プラグラムが用意されています。また、O JTとして上司・先輩職員の指導を受けつつ実践的に分析 能力を高めることができます。

#### Q 留学や在外公館勤務の要員はどのように 選抜されるのですか。

▲ 官民の多くの組織も同様だと思いますが、業務遂行能力、勤務ぶり、語学力、将来性等を総合的に勘案して選抜しています。情報本部では、留学や在外公館以外にも、省内の他機関、他省庁、海外における勤務や研修を通じ、活躍し、視野を広げる機会があります。

#### ② 主な勤務地はどこですか。転勤の可能性はありますか。

▲ 市ヶ谷をベースに勤務し、他機関、他省庁で勤務する場合も 勤務地は基本的に東京都内となります。このほか、海外で勤 務する機会もありますが、国内で転居を伴う異動を求めら れる可能性は基本的にはありませんので、ライフプランが立 てやすい環境で勤務することができます。

#### 

A 情報本部で採用された専門職員の経歴は、専攻、学歴、職歴の何においても多種多様であり、20代後半で採用されている人も少なからずいるほか、理系出身者もいます。経歴や年齢に関わらず、情報本部の業務に関心を持つ方は、是非積極的に受験してください。

## 国家一般職(高卒者試験)

#### ● 採用時の勤務地はどこですか?

▲ 高卒者試験については、事務系・技術系ともにブロック採用 となるため、受験される試験区分によります。

【事務関東甲信越】の場合は、主に市ヶ谷地区での勤務となりますが、関東甲信越地区にある通信所(大井(埼玉県) 又は小舟渡(新潟県))勤務の場合もあります。

【技術関東甲信越】の場合は、採用後に従事する業務により、市ヶ谷勤務又は大井通信所勤務となります。大井通信所勤務の場合、以後は、主に全国6か所(北海道、新潟、埼玉、鳥取、福岡、鹿児島)に所在する通信所で勤務します。

- ↓ 技術系からの採用(大井通信所採用)者が本部(市ヶ谷)で 勤務することはありますか?
- ▲ 現場(通信所)での経験を積んだのち、職域拡大のために本部(市ヶ谷)の各部で勤務することがあります。

#### ● 事務系職員で採用された場合、 どのような仕事を行いますか?

A 主に本部(市ヶ谷)の各部において勤務し、情報本部職員の 人事、給与、行政文書管理、情報公開、会計、物品の取得・ 管理、庶務等の業務に従事又は画像解析等業務に従事し ます。

## 採用担当者がお答えします!

#### 国家一般職 (大卒程度試験) (技術系)

#### ① 行政職と研究職はどのように決定されますか?

A 官庁訪問・採用面接等において、希望をお聞きします。本人 の希望・適性を考慮したうえで決定されます。

#### 

A 情報本部で勤務する技術系職員に占める院卒者の割合は、 採用時の学歴で見ると約28%、入省後に留学制度を利用し 修士号等を取得した職員を含めると約41%となっています。

#### □ 職員の学生時代の専攻は?

A 電気・電子・情報系(34%)、工(28%)、理工(11%)、理 (10%)、物理(3%)などとなっています。ほかに、数学、画像 科学、医学部出身者もいます。

#### 

▲ 主に本部(市ヶ谷)において、電波業務や画像解析業務に従事することになります。その他、内部部局や防衛装備庁など 防衛省内の他機関への人事交流の機会もあります。初配置 は官庁訪問・採用面接を通じて、本人の希望及び適性を考慮して決定されます。以後についても、本人の希望及び適性 を考慮して配置が決定されます。

#### ○ 情報本部ではサイバーの知識などは必要とされますか?

▲ 近年のサイバー・ITなどの技術の進展は著しく、情報本部においても、サイバーやIT、プログラミングなどの知識を有する人材を強く求めています。

#### 

▲ 情報本部で勤務する技術系職員に占める既卒者の割合は、 採用時の学歴で見ると約25%となっています。 なお、情報本部では人物本位の採用を行っているため、新 卒・既卒等は一切関係ありません。

#### 各試験共通

#### Q 採用実績を教えてください

▲ 最終ページに過去5年間における各試験毎の採用予定者数を掲載 していますので、参考としてください。

#### **⚠** 私生活上の制限はありますか?

▲ 特段私生活に対する制限はありません。私的な海外渡航についても、 外務省の海外安全ホームページで渡航先に関する危険情報の有無 を確認するなどした上で事前申請等の所定の手続を行うことにより、 原則として認められます。なお、職務内容をみだりに漏洩する等、国や 国民に損失を与えることがないよう公務員としての倫理が求められ るのは一般の公務員と同様です。

#### 食事ができる場所はありますか?

A 市ヶ谷地区においては、高層からの眺望を楽しめるレストランや、定食、丼物、麺類等を取りそろえたフードコートがあります。昼時に販売される日替わり弁当も種類が豊富で人気です。朝7時から営業しているコーヒーショップや24時間営業のコンビニエンスストアもあるのでとても便利です。

#### 職場での服装や髪色、ネイルなどについて規定はありますか?

▲ 自衛官の服装が規則で厳しく定められているのに対し、事務官等の服装に関する明文化された規定はありません。ただし、防衛省職員としての規律と品位を保つように努めなければならないという点では自衛官も事務官等も同じです。

#### ○ 残業や休日勤務はありますか?

▲ 情報本部は、我が国の安全保障に関わるあらゆる事柄を分析し、カスタマーのニーズに応じた情報プロダクトをタイムリーに提供することを任務としていますので、状況によっては課業時間外であっても対応が求められる場合があります。情報業務に携わる者の宿命ではありますが、超過勤務手当や代休取得に関する制度が設けられていますので、オンとオフをうまく切り替えてプライベートを充実させることができます。

#### 

A 情報本部で勤務する事務官等の約3割が女性(P 8・9参照)で、組織の中核的な存在として幅広く活躍しています。もちろん、育児をしながら活躍している女性も大勢います。防衛省では、女性活躍に向け全省的な取り組みが進められていますのでご安心ください。

※男性職員の配偶者出産・育児休暇制度も積極的 に推奨しています。

#### ○ 説明会や官庁訪問の情報について教えてください。

A 開催日程等については、防衛省の採用ホームページでお知らせしています。興味のある方は、是非アクセスしてください。

Q&A 採用担当者がお答えします! **29** 

## 採用情報

#### 給与

採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。下 表は、新規卒業者で市ケ谷地区に勤務した場合の一例です。なお、各試験区 分において基準となる学歴(高卒、大卒)以降の経歴は、経験年数として換 算し、初任給に反映されます。

防衛省専門職員	行政職俸給表(一)	1 級 25 号俸	222,240 円
一般職(大卒程度)	研究職俸給表	1 級 25 号俸	228,480 円
一般職(高卒者)	行政職俸給表(一)	1級5号俸	

#### 各種手当

●扶養手当: 扶養親族のある者に、配偶者月額6,500円等

●住居手当: 借家居住者等に、月額最高28,000円

●通勤手当:交通機関等利用者に、1か月最高55.000円 ●そ の 他: 超過勤務手当、地域に応じた各種手当等

●期末・勤勉手当(いわゆるボーナス): 1年間に俸給などの4.4か月分







託児施設

#### 勤務時間・休暇等

●勤務時間: 勤務時間は1日7時間45分

原則として土・日曜日及び祝日等は休みで週休2日制になります。

暇: 各種制度:年20日の年次休暇(4月1日採用の場合、採用の年は15日。残日数は20日を限度として翌年に繰り越し)のほか、

病気休暇、特別休暇(年末年始・夏季・結婚・出産・忌引・子の看護・ボランティア等)、介護休暇があります。

●各種制度:フレックスタイム制、育児休業、配偶者同行休業等があります。

#### 福利厚生

●共 済 組 合:健康保険や年金などの事業のほか、貯金、貸付、各種健診、宿泊関連の助成や、レジャー施設、各種スクールの 割引利用などのサービスの提供に係る運営を行っています。

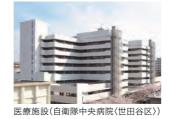
●福利厚生施設 : 共済組合直営の宿泊・婚礼施設や外部委託契約による民間保養施設等を割引金額にて利用できます。

●医療施設:防衛省には独自の病院(自衛隊病院)が全国各地にある他、各職場には医療施設(医務室)が設けられており、職場 内で病気等の治療を受けることができます。

●フードコート・売店等施設:職場にはフードコートや売店などが設けられており、食事や生活必需品を購入することができます。



福利厚生施設 (グランドヒル市ヶ谷)





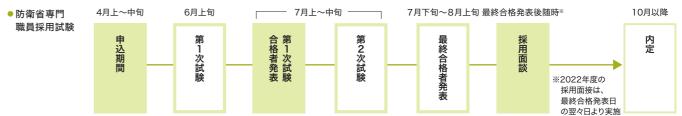
フードコート

#### 採用実績 ※()内の数字は各年度における採用予定者数を示しています。

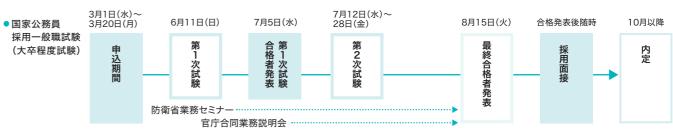
試験区分	試験年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
防衛省専門職員採用試験		英語、ロシア語、 インドネシア語	英語、ロシア語、中国語、 朝鮮語	英語、ロシア語、中国語、 朝鮮語	英語、ロシア語、中国語、 朝鮮語、アラビア語	英語、ロシア語、中国語、 朝鮮語、ペルシャ語、 フランス語
国家公務員 採用一般職試験	大卒程度試験	電気·電子·情報(5) 機械(2)	電気・電子・情報(5)	電気・電子・情報(9)	行政(3) 電気·電子·情報(13) 土木(2)	デジタル・電気・電子(10) 土木(2)
Jill 13 130-laste 130	高卒者試験	技術(31)	技術(15)	事務(2)、技術(16)	事務(17)、技術(19)	事務(11)、技術(13)
国家公務員 採用総合職試験	大卒程度試験	工学(1)	_	_	_	工学(1)

※防衛省専門職員採用試験においては、毎年度、各言語より若干名の採用となっています。

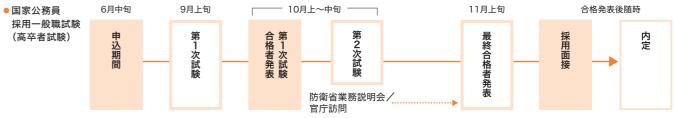
#### 採用試験スケジュール



注:防衛省専門職員採用試験の詳細な日程等については、必ず防衛省ホームページ(採用情報)で最新の情報をご確認ください。



注:詳細な試験や官庁訪問の日程等については、人事院ホームページをご参照ください。



注:詳細な試験や官庁訪問の日程等については、人事院ホームページをご参照ください。

#### 採用試験の詳細情報及び受験案内等請求先

#### ●防衛省専門職員採用試験

防衛省のウェブサイトの「採用情報」から確認してください。

#### ●国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験・高卒者試験)

人事院のウェブサイト「国家公務員試験採用情報NAVI」又は防衛省の ウェブサイトの「採用情報」から確認してください。



防衛省採用情報 QR コード

防衛省 HP →採用情報→一般職·防衛省専門職